

あいち農産物生産流通レポート

平成27年10月号

情報サロン		
・美しいピンク色の花を咲かせるスプレーギク新品種 「スプレー愛知秋1号」を開発	(農業総合試験場)	1
東日本情報		
・文京区の食育推進活動「ハッピーベジタブルフェスタ」	(東京事務所)	2
西日本情報		
・イチゴとバラへのCO ₂ 長期長時間施用指針を作成	(農業総合試験場)	4
フラワーページ		
・花き消費拡大に向けた市場の取組について(愛知名港花き卸売事業協同組合)		6
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年7月)		25
関連指数		26

今月、「地域トピックス」はありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ (03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課 (052)-954-6421

美しいピンク色の花を咲かせるスプレーギク新品種

「スプレー愛知秋1号」を開発

農業総合試験場

1 はじめに

スプレーギクは全国で2億4千万本出荷される重要な花き品目（2014年産、農林水産統計）で、白、黄、ピンク色など様々な花色の品種が周年生産されています。スプレーギクの品種には7～9月の高温期に出荷される夏秋系と、10～6月に出荷される秋系があります。このうち、ピンク色の秋系品種では比較的高温になる10月や6月出荷において花弁の色が著しく退色し、品質の低下が見られます。また秋系品種では、冬季の生産コスト軽減、安定生産を図るために、寒い時期にも茎が良く伸びる性質が求められています。そこで、愛知県農業総合試験場は、6月や10月にもピンク色として出荷可能で、高い低温伸長性を有し、花弁の角度が斜め上方を保つなど商品性も優れた新品種の開発に取り組み、2009年から6年間かけて新品種「スプレー愛知秋1号」を開発したので紹介します。

2 開発の経緯

2009年に花色の良い系統と茎の伸長性が高い系統を交配し、2010年に生育した492系統の中から13系統を一次選抜、2011年に2系統を二次選抜しました。この2系統を愛知県内の生産者の圃場で2012～2014年に試作を行い、花色、花形、茎の伸長性に優れた1系統（09-SF-12-8）を選抜しました。この系統について、全国の主要市場に切り花を提供して評価を依頼した結果、既存品種と比較して花色や花形が良い点で好評を得ました。この系統を「スプレー愛知秋1号」として2014年11月に品種登録出願を行い、2015年5月に出願公表（第29744号）されました。



「スプレー愛知秋1号」

3 品種の特長

「スプレー愛知秋1号」は、比較的高温の時期にも花弁がピンク色を保ち、低温伸長性に優れるため、10月から6月までの長期にわたりピンク色品種として出荷できます。また、花弁の角度が斜め上方を保つため花の形が美しいといった特長も持っており、生産者や市場から高く評価されています。切り花の花持ちは既存品種と同等で、3週間程度観賞できます。



10月における花色の比較
左：「スプレー愛知秋1号」
右：既存秋系ピンク色品種

4 流通について

「スプレー愛知秋1号」は、今年の秋から「あいむルーラ」の名称で本格的に出荷が始まります。2017年には全国で年間50万本の出荷を目標としています。

文京区の食育推進活動「ハッピーベジタブルフェスタ」

【概要】

平成 27 年 8 月 27 日(木)・28 日(金)の 2 日間、東京都文京区の文教保健所健康推進課により、文京シビックセンター(東京都文京区)で食育イベント「ハッピーベジタブルフェスタ 2015」が開催されました。

本イベントは、文京区が平成 24 年度に区民による野菜メニューの提案・普及事業として立ち上げた「ぶんきょう Happy Vegetable 大作戦」の取組の一環で、「学ぶ」「食べる」「買う」体験を通して野菜の魅力を伝えることを目的に、食育講座、体験コーナーとパネル展示、野菜販売・メニュー提供、の 3 つを柱に構成されています。当日は小さな子供連れのお母さんや年配の女性を中心に多くの方が訪れていました。

【食育講座 (株)ローソンの取組】

食育講座では、味の素(株)や(株)ローソン、東京ガス(株)など、大手企業がそれぞれの食育への取組等を講演しました。

(株)ローソンの講演においては「食事のバランス コンビニ活用術」として、コンビニを活用した食事メニューの提案として、カット野菜に係るローソンの取組を紹介していました。

(株)ローソンでは、少子高齢化による利用者の減少への対策として、これまでコンビニの主な利用者であった若年層と男性に加え、女性・シニア層の利用促進に取り組んでおり、他のコンビニとの差別化の手段として生鮮野菜の販売を強化しているとのことです。

また、全国 23 カ所に農業生産法人「ローソンファーム」を設け、ローソンで販売するカット野菜等の提供をしており、本県にも豊川市と豊橋市に「ローソンファーム」が設立されているとのことです。



(株)ローソンの講演の様子

【(株)ローソンの実績】

- ・ 1 日あたり利用客：950 万人
- ・ 店舗数：全国 12,000 店舗
- ・ 取扱商品全種：3,000 種類
- ・ 1 日あたり
トラック配送距離：地球 11 周

■パネル展示と体験コーナー - 様々な団体がPR -

文京シビックセンターの展示室2室を利用して、大学のサークルや栄養士グループ、また区立保育園など様々な団体による体験コーナーとパネル展示が行われました。

体験コーナーでは、「野菜と仲良くなろう」としてお茶の水女子大学公認サークルOchasにより野菜に係るクイズがされたほか、「朝食欠食について」として、跡見学園女子大学によるパズルゲームや塗り絵が提供され、小さな子供を中心に賑わっていました。



展示・体験コーナーの様子

■野菜販売・メニュー提供 - 子ども野菜大使、大活躍！ -

シビックセンター13階食堂で野菜をふんだんに使用した「ハピベジランチ」が提供されたほか、地下2階の区民ひろばでクイーンズ伊勢丹小石川店による野菜の販売が行われました。

野菜・果物の販売においては、文京区が募集する「子供野菜塾」の「子供野菜大使」達が大きな声で呼び込み・商品の袋詰めを行っていました。

「子供野菜塾」とは、野菜に興味のある文京区在住・在学の小学3～4年生を対象に、野菜に関する講習と調理実習、そして本イベントでの販売補助を行うもので、子供の夏休みに合わせて実施しています。

普段は人の少ない地下2階広場ですが、「子供野菜大使」の大きな声での呼び込み効果もあり、多くの方が買い物に訪れていました。



野菜販売では子供野菜大使(写真右側)も活躍！



本県産の大葉も販売

■さいごに

本イベントは大学生や栄養士、そしてコンビニ事業者まで様々な展示・講演があり、食に携わる活動の裾野の広さを改めて実感しました。一方で、野菜の生産に係る内容がほとんど無かったのが残念なところでした。

本イベントを通じて多くの方が野菜の魅力と機能を再確認し、消費拡大がされることを期待したいと思います。

イチゴとバラへのCO₂長期長時間施用指針を作成

農業総合試験場

1 開発の背景

長引く農産物価格の低迷や、燃油を始めとした資材価格が高止まりしている中、新たな栽培施設の増築が困難な状況にあります。このため、多くの園芸作物で、できるだけコストを掛けずに単位面積当たりの収量を増やすことが求められています。

その中で、近年、施設園芸では光合成を促進するために、CO₂を長期・長時間施用する技術の開発が注目されています。その実現のためには、CO₂濃度とともに、湿度などの施設内環境を光合成に最適な条件とする必要があります。これまでイチゴの高設栽培では、厳寒期の早朝に限りCO₂の施用が行われていました。また、バラ栽培においても、収量や品質を向上させる目的でCO₂施用の導入が進んできました。しかし、長時間にわたる最適なCO₂施用濃度や、他の施設内環境条件と併せた施用効果は明らかにされていませんでした。

そこで、愛知県農業総合試験場では、農研機構 野菜茶業研究所、東海4県の公立農試及び大学等との共同研究で、ミスト噴霧によるハウス内の昇温抑制や加湿効果及びCO₂長時間施用がイチゴとバラの収量・品質等に及ぼす影響について検討しました。

共同研究課題名「CO₂長期・長時間施用を核とした環境制御技術を開発し東海の園芸産地を活性化する」(農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業)

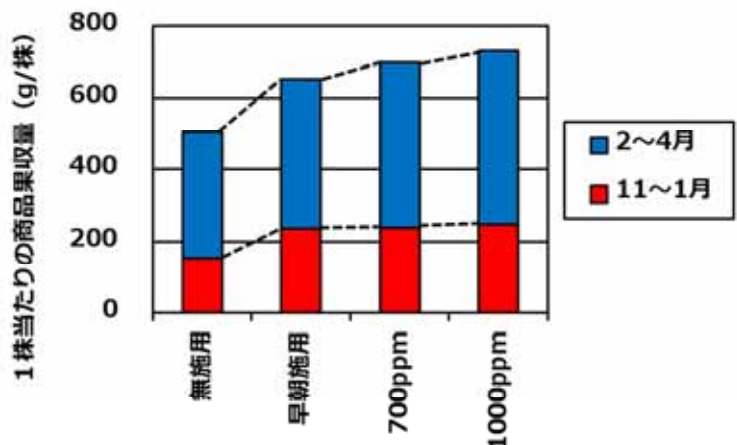


図1 CO₂施用が商品果収量に及ぼす影響

2 イチゴにおけるミスト噴霧とCO₂長時間施用技術の開発

イチゴの高設栽培において、12月から3月までの間、無施用、早朝施用、700ppm及び1,000ppmの4区を設定してCO₂を施用しました(、は換気温度以上では400ppm)。その結果、1株当たりの商品果収量は、1,000ppm区で最も増加しました(図1)。しかし、1,000ppm施用では草勢が強くなりすぎ、先青果や不受精果の発生が増えました。このため、CO₂長時間施用の濃度は、

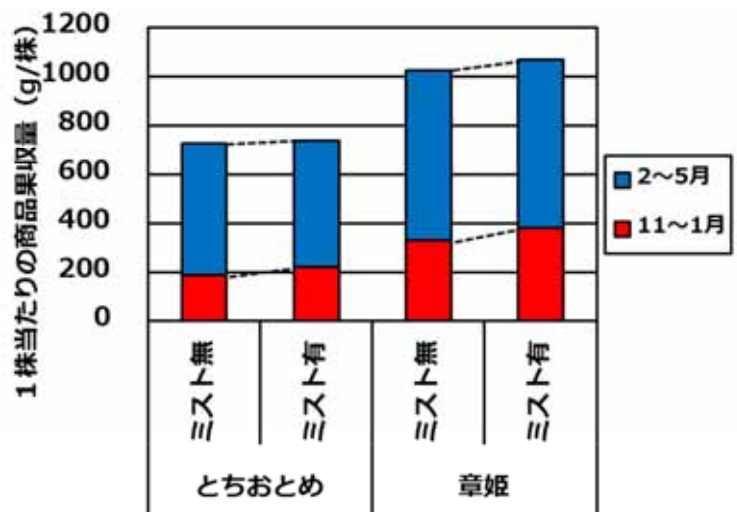


図2 ミスト噴霧が商品果収量に及ぼす影響

換気温度未満の時は700ppm程度が適すと考えられます。

また、CO₂施用にミスト噴霧を併用した施設では、ミスト噴霧をしなかった施設に比べて収量が増加し、特に単価の高い11月～1月までの収量が増えました(図2)。

3 バラにおける効果的なCO₂施用技術

バラでは、気温が高く日中の換気抑制が難しい夏季を除き、試験を行いました。

ミスト噴霧を加えることで温室内の飽差が小さくなり(相対湿度が高くなり)、CO₂施用に適した湿度環境にすることが可能となりました。さらに、換気抑制効果によりCO₂使用量を低減することができました。ミスト噴霧に加え、秋・春季は遮光資材の使用、冬期はヒートポンプによる昼冷を行うことにより、更なる換気の抑制が可能になりました。これによりCO₂を高濃度で維持する時間が延長し、CO₂施用のみでミスト等を行っていない場合に比べて20～36%の増収効果がありました(図3)。

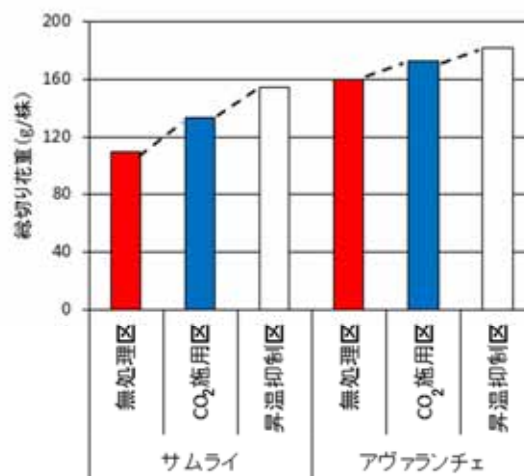


図3 ミストと遮光資材等及びCO₂施用による増収効果

CO₂施用区はCO₂施用のみ、昇温抑制区はミスト+遮熱資材+CO₂施用。

CO₂施用は日の出1時間後から日没1時間前まで、施設密閉時間で800ppm、換気温度以上で400ppmとなるように調整。

これら試験結果を基に、イチゴ、バラの施設環境制御の目標値を設定し(表1、2)効率的なCO₂施用のための指針を作成しました。CO₂施用を核とした環境制御技術により、イチゴ・バラの単収を増加させるとともに、出荷の安定化が期待できます。

表1 イチゴにおける施設環境制御の目標値

時期	温度		湿度	CO ₂ 濃度	
	最高温度	最低温度		換気温度以上	換気温度未満
11月	25	8	60%	400ppm	700ppm
12～2月	28	8	75～80%	400ppm	700ppm
3月	25	8	75～80%	400ppm	700ppm

表2 バラにおける施設環境制御の目標値

時期	温度		湿度	CO ₂ 濃度		その他
	最高温度	最低温度		換気有り	施設密閉時	
10～11月	25～28	18	75～80%	400ppm	800ppm	遮光資材
12～2月	25～28	18	75～80%	400ppm	800ppm	ヒートポンプ昼冷
3～5月	25～26	18	75～80%	400ppm	800ppm	遮光資材

遮光資材は、遮光率30%程度のものを用い、午前10時までとする。
ヒートポンプ昼冷は、換気温度以下に設定し、換気を抑制する。

花き消費拡大に向けた市場の取組について

愛知名港花き卸売事業協同組合

愛知名港花き地方卸売市場は中部圏の大型市場として、中核市場としての役割以外にも、花きの消費拡大に向けた様々な取り組みを実施しています。当市場内の市場運営協議会の下に設置された活性化部会と、市場開設者である愛知名港花き卸売事業協同組合で、消費拡大の為に色々なイベントを企画運営しています。今回、その中で主なものを以下にご紹介します。

【市場開放日】

約半年に1回、花市場を一般に開放し、市場理解の増進を図っています。特に重視していることは、花の素晴らしさ、多様性を知ってもらうことです。品評会と同時開催したり、バラやトルコギキョウ等の花を何百種類一堂に集め来場者に見てもらおうことを行っています。その他販売としては、花の詰め放題や、鉢花の販売、花に関連する資材の販売等で毎回大人気です。



また、フラワーアレンジ教室や、実機を使用した機械セリの体験を行い、実際に花をセリ落とししたりする等、花に親しんで頂く事も行っています。来場者は年々増えてきてリピート率も上がっています。来場者からは「開催数をもっと増やして」と嬉しい反響を頂いています。

【母の日親子体験】

毎年5月の母の日の直前に、お子様に母の日にお母さんにプレゼントするブーケを作る教室を開催しています。花をプレゼントされたお母さんの笑顔により花をプレゼントする喜びを体験してもらおうと考えて企画しています。



【市場まつり】

毎年秋に、隣接する名古屋中央卸売市場南部市場と合同で一般消費者を対象とした大型イベントを実施しています。大人気の焼き肉の試食や花の販売(詰め放題)、鉢花の市場価格販売、花のオークション、「いい夫婦の日」のPRキャンペーン、フラワーアレンジ教室など、花に関する内容を多数企画し、老若男女を問わず幅広い層に参加いただいています。



【フラワーバレンタイン】

花き業界全体が集まって行っている全国統一の大規模なイベントです。男性から女性へ花を贈るというバレンタインの世界標準を日本にも定着させようという活動です。地域のイベントは年々全国的な広がりを見せていて、愛知県においても業界・行政が一体となり「フラワーバレンタインあいち実行委員会」を組織し、積極的に取り組んでいます。当市場も中核的役割を担っています。



【イノベーション事業】

当市場としても国産花きイノベーション推進事業に参画し、名古屋市内の某小学校で、日常的に花のある教室の実現を目指す花育活動を実施したり、港区で高齢者向けにアレンジを中心とした花育教室を開催したり、昨年は花屋さん向けに売上増加に繋がるセミナーを開催したりしています。



【市場見学・視察】

他にも市場に見学や視察の為にご来場され、市場内のご案内をする際には、花きに一層関心を持って頂ける様な説明に努めて対応をしています。

【まとめ】

花き産業における需要が低迷している中で、これらの活動を行うことにより当市場としても少しでも花の消費拡大の助けとなる様に、国・県・地域・業界・消費者の皆様のご支援を頂きながら、様々な形で取組を行っています。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	747	359 (48%)	174	220	三重 (52%) 愛知 (48%)
27年見通し	800	400	180	230	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>産地は愛知と三重。現状、生育は順調で、やや大玉傾向。数量も現状の段階では2割ほど増量の見込み。しかし、昨年においても9月は計画より減少したことから、結果は計画より減少したこともあるため、今後の天候次第ではあるが、結果は前年よりやや増量と予想。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>次郎柿は食味が重要であるので、選果を徹底していただき、特にやわ果の混入には注意してもらいたい。 消費者への安定的な流通のためにも、なるべく正確な出荷情報をお願いしたい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	596	530 (89%)	246	230	愛知 (89%) 静岡 (9%) 岐阜 (1%)
27年見通し	450	-	270	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に静岡などから入荷する。愛知では夏場の高温により生育は前進傾向であり、露地物の出荷開始は10月上～中旬となる。気温低下に伴い着色遅れ等は無く玉肥大も順調に進んでいるが、階級はL中心となる見込み。 入荷量は豊作であった前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>「りんご」「みかん」「なし」など競合する果実が豊富な時期にあたる。果実全体に販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「柿」を消費者に提供できるのが重要となる。このため、選果選別を徹底し、予約販売に向け産地の出荷動向などの確な情報が求められる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

9月13日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	34,154	233	216	223	261	北海道 40%
	23年	36,104	212	250	222	174	長野 19%
	24年	38,044	176	177	175	168	群馬 10%
	25年	36,432	202	207	193	206	茨城 6%
	26年	39,598	179	194	176	163	
	5ヵ年平均	36,866	200	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	37,000	209	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野を中心に入荷する。台風とともに東北地方では大雨により、生育とともに出荷に大きな影響が出ると思われる。そのため、価格も高い傾向が続く。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
だいこん	22年	2,323	103	130	84	99	青森 44%
	23年	2,707	117	185	105	81	北海道 26%
	24年	2,631	80	95	73	79	愛知 12%
	25年	2,275	114	121	95	124	新潟 11%
	26年	2,542	77	90	84	64	
	5ヵ年平均	2,496	98	122	89	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,400	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は北海道、青森中心。他に、新潟、愛知からも入る。新潟、愛知は8月下旬の雨の影響により播種できず、量は少なめになる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	22年	2,314	154	160	155	147	北海道 93%
	23年	2,753	133	161	161	102	青森 6%
	24年	2,972	92	115	103	72	
	25年	2,647	127	136	125	123	
	26年	2,634	98	111	106	86	
	5ヵ年平均	2,664	119	135	131	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,550	145	140	140	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は北海道中心。干ばつにより肥大が進まず、Mサイズ中心。今後の天候により肥大が進めば、Lサイズも出てくる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

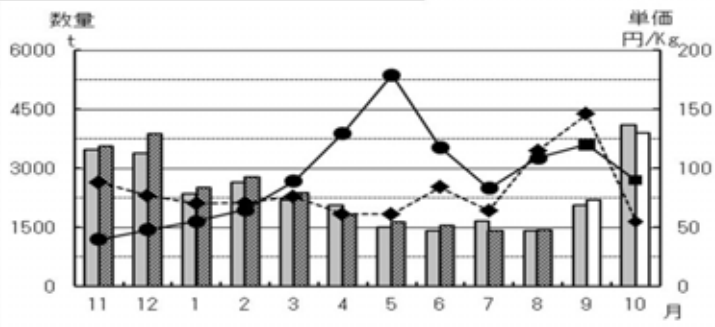
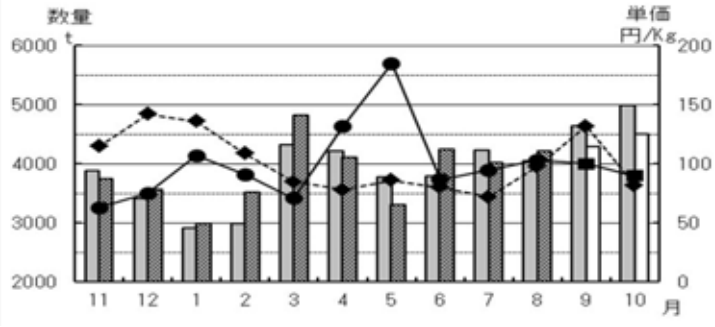
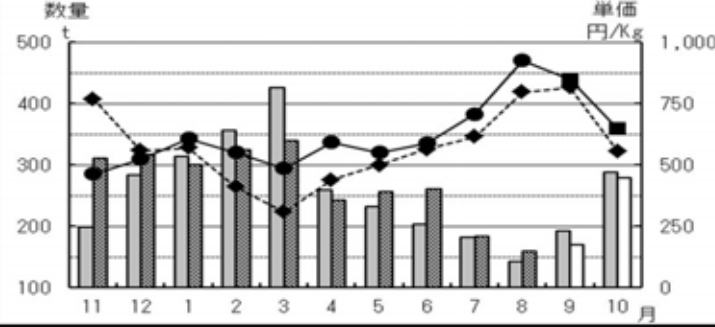
9月25日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	130,018	245	283	226	230	北海道 27%
	23年	136,379	223	268	227	183	茨城 14%
	24年	145,020	196	198	194	196	長野 12%
	25年	141,453	220	225	206	226	千葉 10%
	26年	146,886	192	206	189	182	
	5ヵ年平均	139,951	214	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	142,000	230	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>馬鈴薯、にんじん等根菜・土物類は北海道からの入荷が中心で、葉茎菜類・果菜類は天候不順の影響で関東や東北産地の生育は芳しくない。主力産地は関東に移行し西南暖地からの入荷が始まる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
だいこん	22年	12,341	102	124	81	100	北海道 32%
	23年	13,391	102	161	91	69	青森 30%
	24年	13,411	73	83	65	70	千葉 24%
	25年	13,910	105	112	86	112	茨城 6%
	26年	14,289	72	89	74	58	
	5ヵ年平均	13,468	90	113	79	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	14,000	93	100	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森、千葉からの入荷が中心となる。北海道、青森は下旬には出荷量が少なくなる見込み。千葉は8月下旬からの降雨で一部播種が遅れたが生育良好で中旬頃から出荷が始まる。</p> <p>入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	22年	8,110	150	158	152	142	北海道 92%
	23年	8,065	140	155	152	114	青森 6%
	24年	8,767	101	118	99	88	中国 1%
	25年	8,738	126	131	121	126	
	26年	9,276	90	101	93	80	
	5ヵ年平均	8,591	120	131	122	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,000	132	135	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心で青森が増えてくる。北海道は一部生育期の干ばつで肥大の鈍い地域があり前年より太物発生率は低い模様だが、全体としては生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	3,589	86	109	72	79	長野 92% 茨城 4% 北海道 3%
	23年	3,704	99	188	119	56	
	24年	3,862	51	49	46	66	
	25年	4,042	67	76	51	81	
	26年	4,107	55	80	56	46	
さい	5ヵ年平均	3,861	71	92	69	64	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	3,900	90	80	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心。 天候不順、雹害等の影響もあり、作況は良くない。茨城からも一部はいるが、大雨の影響が大きく、入荷は不安定。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	22年	3,752	106	110	95	115	
	23年	4,721	89	111	89	77	
	24年	5,097	48	49	47	52	
	25年	4,751	95	84	91	111	
	26年	4,987	82	112	89	59	
べっ	5ヵ年平均	4,662	82	90	81	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,500	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬中心。他に、茨城、長野からも入る。 群馬産の生育は順調であるが、茨城産は大雨の影響で不安定な状況。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	22年	334	564	842	544	427	
	23年	302	626	965	675	452	
	24年	282	648	766	611	588	
	25年	263	630	700	555	656	
	26年	288	558	563	562	556	
れん	5ヵ年平均	294	604	743	592	519	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	280	650	700	650	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、岐阜、愛知中心。 岐阜産は順調な出荷。愛知産の露地物は播種の遅れがあり、若干遅れがち。岐阜産の出荷量が多く見込めるので、入荷量は昨年並みの予想。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

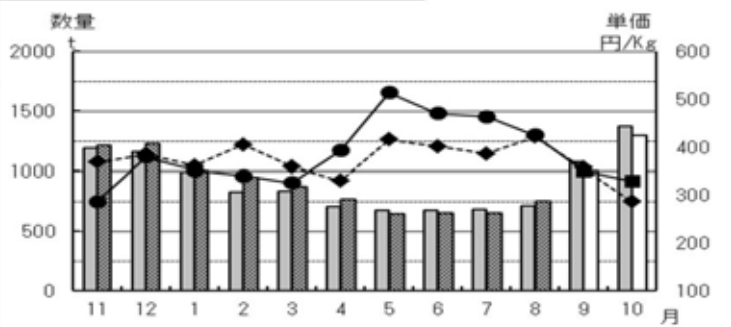
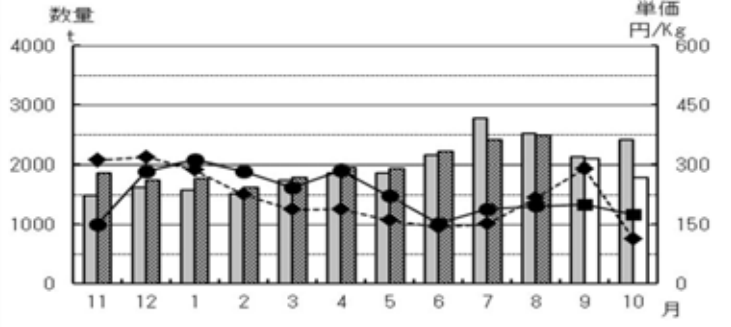
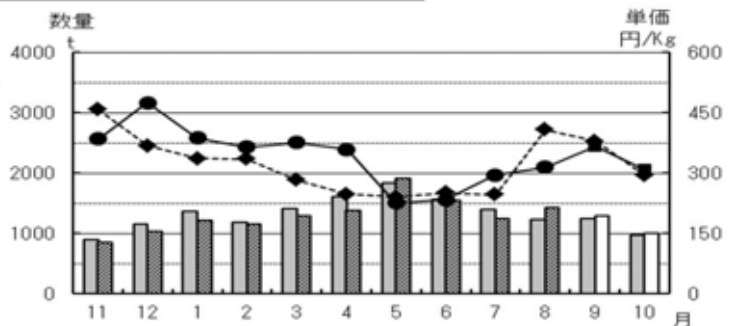
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%)			
				上旬	中旬	下旬	
ほういさ	22年	13,881	85	113	69	74	長野 72%
	23年	12,903	99	177	108	48	茨城 18%
	24年	14,201	50	50	46	55	北海道 7%
	25年	15,123	68	81	49	72	群馬 3%
	26年	14,875	54	79	52	38	
	5ヵ年平均	14,197	70	98	64	58	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	27年見通し	14,000	83	90	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、茨城、北海道からの入荷が中心となる。長野は天候不順で日照時間が短く生育は停滞気味だったが現在は回復傾向。茨城は台風で冠水したほ場があり出荷量は減少の見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	22年	14,373	106	117	93	109	群馬 51%
	23年	15,747	88	109	87	71	千葉 21%
	24年	16,505	42	45	37	45	茨城 10%
	25年	15,649	90	84	83	103	岩手 8%
	26年	17,085	82	114	86	54	
	5ヵ年平均	15,872	81	93	77	75	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	27年見通し	16,000	133	145	135	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、千葉、茨城、岩手からの入荷が中心となる。群馬は前倒し出荷で小玉傾向。千葉は台風とその後の天候不順で生育遅れ気味。茨城は台風で冠水したほ場があり出荷量は減少の見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は高値推移から前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	22年	1,590	535	751	475	464	群馬 40%
	23年	1,367	546	845	532	404	栃木 17%
	24年	1,433	589	711	608	492	茨城 15%
	25年	1,360	567	579	504	610	千葉 7%
	26年	1,668	478	473	481	480	
	5ヵ年平均	1,484	541	667	518	489	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	630	760	630	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、栃木など関東産地中心の入荷となる。群馬は上旬は天候不順の影響で細めの株だが下旬には露地物の出荷が本格化する見込み。栃木、茨城の生育は台風の影響なく良好。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	1,227	411	517	356	374	北海道 48%
	23年	1,334	299	404	290	241	長野 13%
	24年	1,272	337	379	319	332	富山 9%
	25年	1,160	336	334	321	358	愛知 7%
	26年	1,372	287	294	286	286	
	5ヵ年平均	1,273	332	383	314	315	
27年見通し	1,300	330	350	330	310	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心。長野、愛知、富山からも入る。 愛知のねぎは、8月下旬の日照不足の影響が出るも、9月には回復しある程度出揃う。北海道は概ね順調で生育状況も良い。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
し	22年	1,446	249	405	206	187	長野 49%
	23年	1,751	170	240	179	124	茨城 45%
	24年	1,806	143	128	164	157	兵庫 4%
	25年	1,803	181	175	175	207	群馬 1%
	26年	2,409	114	125	110	122	
	5ヵ年平均	1,843	165	188	164	156	
27年見通し	1,800	175	200	180	155	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野から茨城へと切り替わる。 8月下旬からの日照不足の影響により小玉傾向。また、大雨の影響が懸念される。 兵庫も出始めるが、下旬からとなり、量はさほど見込めない。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅう	22年	1,291	335	380	254	395	群馬 33%
	23年	1,324	326	398	290	314	長野 22%
	24年	1,179	295	278	285	332	山梨 17%
	25年	1,005	355	304	265	522	宮崎 7%
	26年	983	296	242	294	370	
	5ヵ年平均	1,156	322	318	277	381	
27年見通し	1,000	310	300	280	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、群馬、埼玉、長野中心、生産抑制で遅れていた物が順調に出荷される見込み。天候安定し順調に出荷できれば、入荷量も増え価格は落ち着く。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	5,272	340	428	289	309	青森 26%
	23年	5,879	202	259	196	164	北海道 16%
	24年	5,762	291	342	275	263	秋田 14%
	25年	6,008	260	251	243	282	山形 10%
	26年	5,872	210	224	219	191	
ぎ	5カ年平均	5,759	259	298	243	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,750	290	330	270	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、北海道、秋田、山形からの入荷が中心となる。主要産地は出荷ピークを迎え生育は概ね良好。水稻の収穫作業の落ち着いた中旬以降から出荷量が増加する見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
し	22年	7,877	236	391	189	167	茨城 57%
	23年	8,686	163	221	169	113	長野 29%
	24年	9,743	122	102	134	126	栃木 6%
	25年	8,740	169	162	161	183	群馬 5%
	26年	10,287	108	115	99	111	
す	5カ年平均	9,067	156	190	148	138	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,000	220	250	230	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は天候不順の影響で生育が進まず小玉傾向、また台風で一部冠水したほ場がみられるなど出荷量は減少の見込み。長野は出荷前倒し傾向で終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
き	22年	5,498	315	340	243	392	埼玉 27%
	23年	6,196	296	351	266	283	群馬 24%
	24年	6,213	273	238	281	312	茨城 12%
	25年	5,810	330	276	260	480	福島 12%
	26年	5,956	272	206	287	336	
り	5カ年平均	5,935	297	282	268	358	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,900	283	290	270	290	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>埼玉、群馬など関東産地中心の入荷となる。各産地とも天候不順の影響で生育遅れがみられる。埼玉、群馬は雪害のハウス再建から作付け増の見込み。茨城は台風で冠水したほ場がみられる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	851	248	307	220	223	愛知 31%
	23年	666	336	506	338	259	熊本 25%
	24年	723	260	258	250	285	山梨 19%
	25年	595	304	297	264	390	徳島 8%
	26年	691	246	192	237	334	
	5ヵ年平均	705	276	289	260	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	650	280	300	280	260	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、愛知、熊本、山梨が中心。 夏秋ものから秋冬ものへ切り替わる。台風の影響により、9月上旬の出荷が弱い。秋冬産地の熊本は、生育不良により遅れがちで、価格は高い。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
ト マ ト	22年	917	494	635	458	421	岐阜 26%
	23年	941	484	723	580	321	愛知 18%
	24年	959	537	473	571	607	熊本 15%
	25年	1,086	453	601	377	420	千葉 11%
	26年	1,283	374	424	348	351	
	5ヵ年平均	1,037	462	541	451	411	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,000	410	450	400	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は岐阜の飛騨地方、愛知中心。 秋冬トマトへと切り替わる時期。夏期の干ばつ、日照不足の影響により夏秋産地は早めに終了する見込み。秋冬産地は遅れがちで品薄傾向となる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
ミ ニ ト マ ト	22年	235	1,025	1,237	1,159	693	北海道 46%
	23年	284	912	1,051	1,031	720	愛知 24%
	24年	301	937	851	949	1,046	熊本 19%
	25年	376	875	985	941	758	
	26年	411	805	987	793	661	
	5ヵ年平均	321	897	999	960	758	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	375	880	1,000	900	750	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、北海道、愛知、熊本が中心。 北海道は徐々に減少していき、秋冬産地の熊本が増える。熊本の入荷が遅れがちで、全体の入荷量は少なめ。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	3,907	245	308	222	211	高知 35%
	23年	3,366	334	486	314	262	栃木 22%
	24年	3,917	262	278	225	278	茨城 16%
	25年	3,065	331	292	266	474	群馬 17%
	26年	3,518	260	221	248	316	
	5ヵ年平均	3,555	283	315	253	302	
27年見通し	3,350	350	340	340	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、栃木、茨城、群馬からの入荷が中心となる。高知は中旬以降出荷が本格化し、生育、着果は良好。関東産地は終盤を迎え徐々に減少、天候不順の影響で生育遅れ気味。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ト マ ト	22年	5,376	475	591	420	428	千葉 24%
	23年	5,868	467	680	502	319	茨城 16%
	24年	5,968	528	442	576	596	福島 13%
	25年	6,585	428	532	338	429	青森 9%
	26年	7,109	338	364	315	331	
	5ヵ年平均	6,181	442	514	424	418	
27年見通し	6,400	450	500	440	410	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地は終盤を迎え、千葉、茨城からの入荷が中心となる。千葉、茨城は天候不順で着色が遅れ気味。福島、青森は夜温が低くなっており早めに切り上がる模様。西南暖地からの入荷が始まる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	1,045	923	1,154	1,010	658	茨城 28%
	23年	1,203	863	938	1,040	649	千葉 14%
	24年	1,320	885	774	891	1,013	北海道 14%
	25年	1,748	765	868	812	654	愛知 11%
	26年	1,884	724	930	676	597	
	5ヵ年平均	1,440	816	920	858	705	
27年見通し	1,700	830	900	850	740	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉、北海道、愛知からの入荷が中心となる。茨城、千葉は高温時定植の作型は着果が少なく樹勢弱傾向、中旬以降回復を見込む。北海道は天候不順で樹勢が回復せず終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	461	415	508	382	377	岩手 31% 茨城 27% 宮崎 12%
	23年	445	380	392	475	339	
	24年	447	233	248	255	297	
	25年	435	386	453	398	388	
	26年	409	306	335	346	338	
マン	5カ年平均	440	345	379	373	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	400	380	420	380	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、茨城、岩手中心。北海道は上旬ぐらいに終了し、宮崎等の西南地方が始まる。</p> <p>入荷量は前年ほどではあるが、昨年は品質が良くなかったため、今年は高い。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	22年	2,729	142	159	154	117	北海道 100%
	23年	2,709	109	125	117	94	
	24年	2,610	75	78	80	74	
	25年	2,962	95	114	95	89	
	26年	2,984	85	92	89	82	
いしょ	5カ年平均	2,799	101	112	107	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,900	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、北海道のみ。</p> <p>男爵の生育は順調。メイクインは生産地方の干ばつの影響により小玉傾向。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
たまねぎ	22年	4,503	119	118	125	113	北海道 99% 中国 1%
	23年	4,226	93	106	105	83	
	24年	5,578	70	77	75	70	
	25年	4,866	97	102	102	104	
	26年	6,499	75	79	79	76	
ねぎ	5カ年平均	5,134	89	95	94	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,500	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道からの入荷が中心。出荷のピークとなる。</p> <p>生育順調で2L等の大玉傾向の出荷となる。昨年ほどの入荷が見込めそう。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	1,705	406	489	386	346	茨城 64%
	23年	1,804	327	363	402	240	岩手 19%
	24年	2,101	202	172	197	241	福島 6%
	25年	1,939	356	364	377	331	宮崎 3%
	26年	1,977	269	257	262	288	
マン	5カ年平均	1,905	307	322	320	288	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,900	350	350	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、岩手、福島、宮崎からの入荷が中心となる。茨城は出荷ピークを迎え、生育は天候不順の影響で不安定だが天候が回復すれば出荷は増えてくる見込み。岩手は夜温が低く早めに切り上がる模様。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばいしよ	22年	7,248	156	158	157	152	北海道 99%
	23年	7,192	122	123	124	120	
	24年	8,842	86	85	88	86	
	25年	8,747	109	119	107	101	
	26年	8,133	92	94	91	91	
いしよ	5カ年平均	8,032	111	114	112	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,100	93	100	90	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道はメイクインを中心に干ばつの影響で小玉傾向。生育は全体としては概ね良好。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
たまねぎ	22年	9,618	135	135	135	135	北海道 95%
	23年	10,581	100	103	100	97	中国 4%
	24年	11,126	79	85	80	72	
	25年	10,820	107	107	105	108	
	26年	11,839	82	85	81	80	
ねぎ	5カ年平均	10,797	99	102	99	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,500	73	80	70	70	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は干ばつの影響を受けた地域では小玉傾向だが、全体としては生育は概ね良好で前年以上の出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	12,196	285	324	282	250	長野 17%
	23年	13,154	262	307	269	233	三重 17%
	24年	13,841	246	295	233	221	和歌山 14%
	25年	12,253	274	305	260	257	フィリピン 14%
	26年	12,729	257	287	263	234	
	5ヵ年平均	12,835	264	-	-	-	
	27年見通し	12,300	260	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内産は長野、三重、和歌山中心に入荷。今夏の天候不順の影響により、全体的に生育が「良くなく、入荷量も伸び悩むおそれがある。今後の天候回復に期待したい。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
みかん	22年	3,228	221	261	223	188	三重 54%
	23年	4,113	174	224	187	148	熊本 16%
	24年	3,599	161	189	147	166	和歌山 13%
	25年	3,680	200	215	199	194	静岡 10%
	26年	3,710	178	213	196	145	
	5ヵ年平均	3,666	186	-	-	-	
	27年見通し	3,600	180	200	180	170	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>三重を中心に、熊本、和歌山から入荷。三重は遅れていた分が10月に出てくる。全体的に小玉傾向であるものの、今後の天候次第では、大玉も増えてくる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
かき	22年	1,648	323	369	310	303	和歌山 61%
	23年	2,225	260	291	251	260	岐阜 17%
	24年	2,334	223	290	216	195	愛知 12%
	25年	1,918	254	256	249	275	三重 6%
	26年	2,171	238	271	240	225	
	5ヵ年平均	2,059	256	-	-	-	
	27年見通し	2,100	240	270	250	230	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>和歌山を中心に入荷する。全体的に前進傾向で、生育は順調。上中旬に出荷が集中すると思われる。全体量は前年より若干少ない程度。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	22年	45,135	276	310	271	249	和歌山 12%
	23年	46,781	265	291	265	247	青森 10%
	24年	52,113	234	262	225	219	熊本 9%
	25年	45,020	270	285	268	259	長野 9%
	26年	48,993	254	267	251	245	
	5ヵ年平均	47,608	259	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	48,000	270	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、かき、なし、りんご中心に入荷。いずれも前進傾向であり、例年よりピークは早まる見込み。いずれも品質はよく、堅調な販売が期待される。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
み か ん	22年	12,648	201	265	197	167	熊本 28%
	23年	14,156	187	226	185	172	愛媛 22%
	24年	15,304	162	181	147	166	長崎 21%
	25年	14,356	192	204	190	186	和歌山 11%
	26年	15,121	159	175	159	150	
	5ヵ年平均	14,317	179	208	175	168	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	14,500	170	190	170	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、長崎、愛媛などから「極早生」中心に入荷する。熊本では台風15号の影響は少なく、生育は順調。長崎は裏年傾向のため前年より入荷量は1割程度の減となる。愛媛は高糖度の仕上がりで入荷量は前年並の見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
か き	22年	6,752	320	384	303	297	和歌山 42%
	23年	9,117	263	292	253	253	奈良 22%
	24年	10,097	209	267	191	189	新潟 9%
	25年	8,196	253	235	243	279	愛知 7%
	26年	9,230	229	233	227	229	
	5ヵ年平均	8,678	250	277	239	245	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,500	240	240	240	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>和歌山中心に奈良、新潟、愛知等から入荷する。前半は「刀根早生」中旬からは「平核無」中心となる。「太秋」は福岡、熊本で台風による落果、枝折れがあり入荷量減少の見込み。入荷量は豊作であった前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

注：平成27年の4月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記

切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	22年	1,824	46	
		23年	1,802	61	
		24年	1,724	47	
		25年	1,566	53	
		26年	1,861	36	
	5ヶ年平均		1,755	48	
	27年見通し		1,800	45	
概要	<p>愛知、三重、長野中心に入荷。高冷地産の出荷も終盤となり、入荷も落ち着き、彼岸以降の低迷も落ち着きを取り戻す。中旬以降は秋冬品種の出荷も始まる。</p>				
小ぎ	実績	22年	964	20	
		23年	888	42	
		24年	951	29	
		25年	849	36	
		26年	818	29	
	5ヶ年平均		894	31	
	27年見通し		840	30	
概要	<p>愛知、奈良、長野等から入荷。長野や山間地産は終了し、入荷は地場主体となる。量的にはあまり多くなく、落ち着いた展開と思われる。</p>				
カーネーション	実績	22年	1,152	40	
		23年	1,281	38	
		24年	1,188	68	
		25年	1,314	35	
		26年	1,185	36	
	5ヶ年平均		1,224	43	
	27年見通し		1,200	40	
概要	<p>長野、北海道、愛知を中心に入荷。今年はおだしから高冷地産が順調で、9月中旬からブライダル等の引合いで高値が続いている。10月はブライダル本番ということもあり、少ない物、品質の高い物は安定した動きとなる。輸入物は少量安定。暖地産も順調で、今年秋の訪れも早いため、品質も良い。</p>				
かすみ	実績	22年	76	142	
		23年	61	175	
		24年	85	136	
		25年	110	112	
		26年	126	92	
	5ヶ年平均		92	125	
	27年見通し		120	110	
概要	<p>長野、北海道、福島中心に、中旬以降は九州方面、和歌山、高知などからも入荷。前半は入荷も多く、販売は厳しいが、後半はやや少なめの入荷となり、高単価の取引もありえ、業務中心の販売で安定相場。品種はアルタイル、パールスター中心。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	22年	368	184	
		23年	411	172	
		24年	381	162	
		25年	412	144	
		26年	383	147	
	5ヶ年平均		391	162	
	27年見通し		380	150	
概要	<p>オリエンタルは新潟、四国、埼玉中心に入荷。昨年並の入荷で、前半はやや多く、中旬以降は少なくなりそう。鉄砲は兵庫、愛媛が終盤で高知や鳥取産に切り替わる。LAは埼玉中心に高知からも入荷し、前半は新潟産もある。ユリ全体で前半は重い販売で、中旬以降価格が戻る。</p>				
洋 ら ん	実績	22年	521	68	
		23年	608	65	
		24年	561	62	
		25年	1,103	68	
		26年	556	72	
	5ヶ年平均		670	67	
	27年見通し		600	70	
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島、輸入等が入荷。9月に引き続き、夏の暑さの影響が前半まで残る物がありそう。カトリアはその類でシンビは国産が主力となり、コショウランは順調。気温も落ち着き、需要も安定してくると思われる。</p>				
ば ら	実績	22年	1,109	72	
		23年	1,030	73	
		24年	1,049	77	
		25年	997	71	
		26年	974	73	
	5ヶ年平均		1,032	73	
	27年見通し		1,000	75	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。入荷量は横ばいだが、規格上位の比率が上がってくる。体育の日がらみの三連休はブライダル中心の需要が見込まれる。品種も新品種を始め、出そろってくる。</p>				
枝 も の	実績	22年	1,753	43	
		23年	1,892	28	
		24年	1,668	45	
		25年	1,588	46	
		26年	1,626	45	
	5ヶ年平均		1,705	41	
	27年見通し		1,650	45	
概要	<p>長野、岐阜を中心に季節を感じさせるツル梅、梅もどき、野バラ等の実物や紅葉物が入荷。花展もあり、堅調な動きとなろう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	22年	23,553	699	
		23年	27,488	737	
		24年	25,564	792	
		25年	18,404	817	
		26年	18,287	778	
	5ヶ年平均		22,659	761	
	27年見通し		18,000	770	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。マッサン、ユッカ、コンシなどが主体での入荷を予想。昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(69.8%)、2位鹿児島(13.1%)、3位沖縄(9.7%)となっている。</p>				
ショコバサボテン	実績	22年	60,104	376	
		23年	61,253	448	
		24年	61,116	387	
		25年	56,852	378	
		26年	42,802	370	
	5ヶ年平均		56,425	394	
	27年見通し		44,000	390	
概要	<p>入荷量は昨年より若干増加か。愛知の作付量減、荷主減はあるが、関東が一昨年並の見込み。関東は5号以上がほとんどの為、価格面でも昨年を上回ると予想。昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(68.6%)、2位埼玉(23.5%)、3位茨城(6.6%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	22年	504,016	184	
		23年	628,281	185	
		24年	520,300	177	
		25年	635,015	181	
		26年	603,249	181	
	5ヶ年平均		578,172	182	
	27年見通し		610,000	180	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。ガーデンシクラメンの入荷がピークを迎える。相場は昨年並を予想。4号鉢も中旬以降より入荷は増えてくる見込み。5号以上の入荷はやや減少傾向にある。昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位長野(31.8%)、2位愛知(29.3%)、3位北海道(18.7%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	22年	4,307	1,808	
		23年	8,765	2,201	
		24年	5,020	1,983	
		25年	11,167	2,090	
		26年	9,021	2,040	
	5ヶ年平均		7,656	2,058	
	27年見通し		8,000	2,000	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。例年より早生品種の作付けが減っている事と、気候の兼ね合いで10月上旬は少ない見込み。中旬～下旬からの出荷を期待したい。昨年同様にまだこの時期は温度帯が高いので、出荷前の水遣りと購入後の水遣りをしっかりお願いしたい。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（75.3%）、2位静岡（8.1%）、3位徳島（5.3%）となっている。</p>				
カラッコ	実績	22年	47,561	200	
		23年	50,809	201	
		24年	53,440	194	
		25年	50,183	183	
		26年	46,552	183	
	5ヶ年平均		49,709	192	
	27年見通し		46,000	180	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。5～6号は八重咲き等、引き合いは強めであるが小鉢を含め、一重系はやや弱めと予想。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（42.8%）、2位岐阜（41.6%）、3位茨城（9.8%）となっている。</p>				
パンジー	実績	22年	602,791	50	
		23年	961,088	46	
		24年	775,617	44	
		25年	868,159	44	
		26年	788,490	45	
	5ヶ年平均		799,229	46	
	27年見通し		770,000	45	
概要	<p>入荷量は昨年よりさらに減少か。10月上旬の出荷は少なく、中旬以降より徐々に増え11月にピークを予想。注文が集中する時は相場があがるがそれ以外は昨年並み。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（31.9%）、2位奈良（23.5%）、3位長野（9.7%）となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (**イート モア アイチ** プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 508
平成27年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (**イート モア アイチ** プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 508
平成27年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421